

排出削減実績報告書

排出削減事業の名称：

メッキ加工工場におけるボイラーの更新
による CO2 削減事業 (A 重油→都市ガス)

排出削減事業者名：朝日理化工業株式会社

排出削減事業共同実施者名：一般社団法人 低炭素投資促進機構

その他関連事業者名：

1 排出削減事業者の情報

排出削減事業者	
会社名	朝日理化工業株式会社
排出削減事業を実施する事業所	
事業所名	朝日理化工業株式会社
住所	愛知県春日井市追進町 1 - 1
排出削減事業共同実施者（国内クレジット保有予定者）	
排出削減事業共同実施者名	一般社団法人 低炭素投資促進機構
その他関連事業者	
関連事業者名	

2 排出削減活動の概要

2.1 排出削減事業の名称

メッキ加工工場におけるボイラーの更新による CO2 削減事業（A 重油→都市ガス）

2.2 排出削減事業の目的

本事業は、メッキ加工工場におけるボイラー設備を高効率な設備に更新し、A 重油から低炭素燃料の都市ガスへエネルギー転換することによって、二酸化炭素削減を図るものである。

2.3 温室効果ガス排出量の削減方法

既存のボイラー1 台（三浦工業株式会社 A 重油焚きボイラ EH-750F）を高効率なボイラー2 台（三浦工業株式会社 都市ガスボイラ SU-350H）に更新することでエネルギー使用量を削減して CO2 削減を図る。また A 重油よりも単位発熱量当たりの炭素含有量が少ない都市ガスへ燃料転換することにより CO2 削減を図る。

2.4 国内クレジット認証要件の確認

排出削減量は承認排出削減計画に従って当該計画を実施した結果生じたものか	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
排出削減量は承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されているか	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ

2.5 承認排出削減事業計画からの変更項目

変更なし

3 排出削減活動期間

3.1 プロジェクト開始日

2013年1月6日

3.2 モニタリング対象期間

(本報告における実績報告期間)

2015年4月1日 ～ 2018年1月5日

4 温室効果ガス排出削減量

4.1 採用した排出削減方法論の情報

方法論番号	方法論名称
001	ボイラーの更新

4.2 活動量

4.2.1 活動量・原単位

対象	活動量	原単位

4.2.2 活動量の採用根拠

活動量は採用しない。

4.3 事業の範囲（バウンダリー）

本事業のバウンダリーは、朝日理化学工業株式会社の工場におけるボイラー設備及び、供給設備とそこから蒸気・温水の供給を受ける設備である。

5 モニタリング対象指標

項目	定義	単位	実績値	モニタリング方法・ 根拠資料	(モニタリング方法に変更ある場合、) 変更理由
F _{fuel,I,PJ}	事業実施後の燃料使用量	Nm ³	311,063	燃料供給会社から送付される請求書を担当者が毎月記録し、保管する。 (燃料使用量は m ³ →Nm ³ 換算*を行い記録する。)	無し
HV _{fuel,i,PJ}	事業実施後の燃料の単位発熱量	GJ/ Nm ³	0.0460	デフォルト値を利用	無し
ε _{BL}	事業実施前のボイラー効率	%	80.75	カタログ値をもとに算定	無し
ε _{PJ}	事業実施後のボイラー効率	%	81.0	カタログ値をもとに算定	無し
CO ₂ F _{fuel,BL}	事業実施前の燃料の単位発熱量 当たりの二酸化炭素排出係数	tCO ₂ /GJ	0.0708	デフォルト値に変更がないか確認	無し
CO ₂ F _{fuel,i,PJ}	事業実施後の燃料の単位発熱量 当たりの二酸化炭素排出係数	tCO ₂ /GJ	0.0521	デフォルト値に変更がないか確認	無し

※換算係数は、低圧供給で春日井市の平均気温 16.5 度のため 0.962

7 排出削減量の計算

7.1 事業実施後排出量

活動量	単位発熱量	排出係数	CO2 排出量
311,063 (Nm3)	0.0460 (GJ/Nm3)	0.0521 (tCO ₂ /GJ)	745.5 (tCO ₂)
EM _{PJ}			745.5 (tCO ₂)

7.2 ベースライン排出量

活動量	単位発熱量	排出係数	CO2 排出量
14,353.2(GJ)		0.0708 (tCO ₂ /GJ)	1,016.2 (tCO ₂)
EM _{BL}			1,016.2 (tCO ₂)

7.3 リークエージ排出量

活動量	単位発熱量	排出係数	CO2 排出量
LE			0 (tCO ₂)

7.4 温室効果ガス排出削減量

項目		記号	
ベースライン排出量	(7.2)	EM _{BL}	1,016.2 (tCO ₂)
事業実施後排出量	(7.1)	EM _{PJ}	745.5 (tCO ₂)
リークエージ排出量	(7.3)	LE	0 (tCO ₂)
温室効果ガス排出削減量		ER	270 (tCO ₂)

8 省エネルギー量

原油換算 (kl)		
ベースライン (①)	実績 (②)	ベースラインー実績 (①ー②)
370.3	369.2	1.1

熱量換算及び原油換算において用いる換算係数については、エネルギー使用の合理化に関する法律（省エネ法）施行規則第4条に規定する換算係数を使用すること。 省エネルギー量=370.3-369.2=1.1kl

9 再生可能エネルギー利用量

	モニタリング期間 (2013年4月1日 ~ 2015年3月31日)			
		エネルギー使用量 (実績)	熱量換算 (GJ) (実績)	原油換算(kl) (実績)
	単位			